

## 特例追試験の出題教科・科目の出題方法等

教科	グループ	出題科目	出題方法等	科目選択の方法等	試験時間(配点) (注1)
国語		「国語」	「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する(注2)。		80分(200点)
地理歴史		「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	「倫理、政治・経済」は、「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない(注3)。 なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (注4)
公民		「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」			
数学	①	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」	「数学Ⅰ・数学A」は、「数学Ⅰ」と「数学A」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学A」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔場合の数と確率、整数の性質、図形の性質〕	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。	60分(100点)
	②	「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」 (注5)	「数学Ⅱ・数学B」は、「数学Ⅱ」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学B」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測〕	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。	60分(100点)
理科	①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。	【理科①】 2科目選択 60分(100点) (注6)
	②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」には、一部に選択問題を配置する。	A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目及び理科②から1科目 D 理科②から2科目  なお、受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	【理科②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (注4)
外国語		「英語」 (注5)(注7)	「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲とする。 【筆記】として、発音、アクセント、語句整序などを単独で問う問題も出題する。 【リスニング】の聞き取る音声は、全ての問題において2回流すものとする。		【筆記】 80分(200点) 【リスニング】 60分(うち解答時間30分) (50点)

令和3年1月16日及び17日並びに1月30日及び31日に実施する試験との相違点を下線で表示しています。

- (注1) 国語は、1試験時間とし、地理歴史及び公民については、合わせて1試験時間とします。数学及び理科は、①及び②の出題科目のグループごとに、外国語「英語」は、筆記とリスニングに試験時間を分けます。
- (注2) 「国語」の出題分野別の配点は、「近代以降の文章(2問100点)、古典(古文(1問50点)、漢文(1問50点))」とします。  
なお、国語の出題分野のうち、大学が指定した分野のみを解答する場合でも、国語の試験時間は80分です。
- (注3) 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」、「日本史A」と「日本史B」、「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理、政治・経済」の組合せを指します。
- (注4) 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2科目受験する」と登録した場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行います。第1解答科目と第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とします。
- (注5) 数学②は「数学Ⅱ」及び「数学Ⅱ・数学B」を、外国語は「英語」のみを出題科目とします。
- (注6) 「理科①」については、1科目のみの受験は認めません。
- (注7) 原則として、筆記とリスニングの双方を解答してください。リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行います。解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間は60分とします。